

水道小ネタ（FY2026）

4/26 令和 8 年度全国水道主管課長会議

表題の毎年恒例の実務者向け会議資料が公表されました。人によってインプットは違いますが、私の新規インプットは以下のとおりです。今年は文章の公表はないかもしれません。

（PPT 資料）

- p.21 予算の適切な執行・早期執行の要請が各所に記載（阿賀町の架空請求事案か？）
- p.25 上下水道 DX 推進に向けたロードマップ及び KPI（給水装置申請の雛形は既に公表されています）
- p.40 PFAS とクリプト対策は資本単価が満たせなくても、料金回収率 or 料金改定 or 広域化の要件で OK に
- p.76 上下水道管と道路橋の両方が耐震化された添架水管橋の割合はなんと 18%！？
- p.78 皆さん「水道地図」ってご存知ですか？
- p.116 水道情報活用システムを導入した団体が少しずつ増えている
- p.128 主として既設更新に事業評価は不要に
- p.130 事業評価マニュアルを改訂予定
- p.132 「制御系システムにおいて、情報セキュリティ対策を実施していない事業者」が立入検査の対象予定
- p.207 水道セキュリティ 4 原則「主体認証」「アンチウイルスによる監視」「最新 OS」「入退室管理」
- p.252 R6 の料金改定率は平均 18% 最高は 43%
- p.271 上水道・工業用水道部門における温室効果ガス排出抑制等指針マニュアルが R8 に改訂予定
- p.293 クリプトレベル 3・4 で未対策の水源が全国に 2 千以上ある！？

4/26 令和 7 年度立入検査の結果

今年は大臣認可 438 団体のうち 15 団体を対象に立入検査が実施されました。R7 の主なテーマは鉛製給水管、アセマネタイプ 4 D、地震 BCP マニュアルでした。目立ったものとしては、やはり施設の点検修繕結果が記録されていないこと（FY24 の同エントリ参照）、技術省令にある予備消毒施設の未設置、末端で毎日検査が実施されていない、クリプトレベル 3・4 で未対策の水源がある、水道施設台帳の未整備、資産維持費の未計上、排水処理（確か日 1 万トン以上）設備が整備されていない、あたりでした。

今年度実績からすれば、立入検査の頻度は 30 年周期。勿論、内部統制がしっかりしている団体もありますのでこの限りではありませんが、基本的には何かしらの指摘がある中で施策の早期浸透を図る上では、認可と合わせて 5 年ないしは 10 年に一回は認可元の審査が入ると理想的だなと考えるところです。